



広報

いずみ

'92 Spring

No.397

平成4年4月10日

(年4回発行)

発行：和泉村役場・編集：総務課

〒912-02

福井県大野郡和泉村朝日16-3-4

TEL (0779) 78-2111

平成4年4月1日現在：総人口 853人・男 404人・女 449人・出生 2人・死亡 4人・転入14人・転出 18人・世帯数 292世帯



入学おめでとう!
ピカピカの小学1年生

豊かな自然とやすらぎの里

いずみ

WOODY LAND IZUMI

平成四年度

予算の概要及び

村長の施策方針(抜粋)



	予算額	前年度当初比 伸び率
一般会計	21億6,100万円	27.1%
特別会計	3億6,942万2,000円	40.1%
合計	25億3,042万2,000円	9.2%

三月十日から十三日まで開かれた村議会定例議会で、平成四年度の一般会計並びに特別会計の予算が決まりました。一般会計及び特別会計の予算総額は、二十五億三千四十二万二千円で、前年度比較二億一千三百八十三万四千円、九・二%の増額となりました。一般会計では、対前年度比

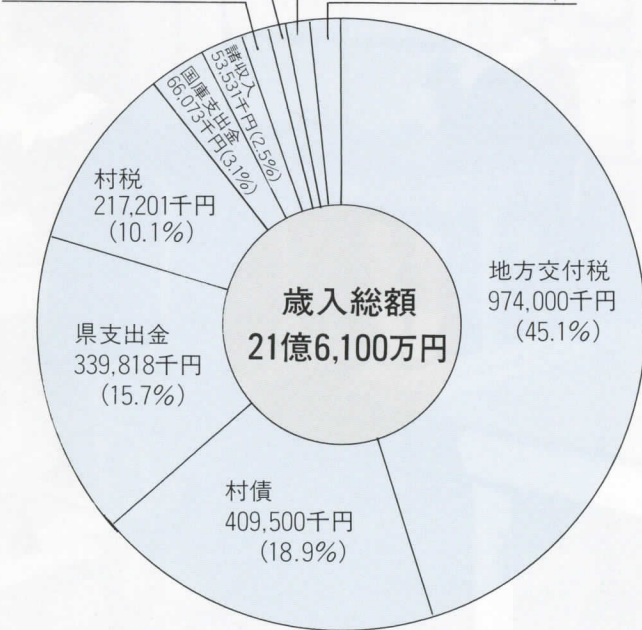
四億六千百万円で二十七・一%の大幅な増額予算となりましたが、これは、九頭竜保養の里整備関連で今年度より三年計画で整備を進める地域交流センター、地域食材提供施設の経費二億四千万円と、二年計画で総合保養地整備事業として整備する文化交流ホール建設費一億円が大きな要因

となっており、特別会計では、簡易水道事業会計で、対前年度比三千二百二十九万六千円、四百九十三・一%と五倍弱の伸びになつておりますが、今年度から三年計画で実施する朝日地区簡易水道配水管伏せ替え工事、後野区外各地区の整備費を計上したものであります。国民健康保険事業会計は、一千四十九万三千円で十六・四%の減額となっておりますが、療養給付費の減少と、医師住宅建設に伴う診療所会計

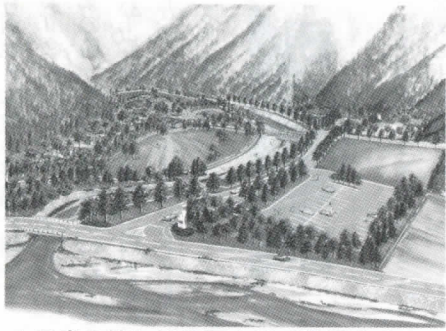
への繰出金の減額によるものであります。診療所事業会計では医師住宅建設等の経費一千五百三十二万五千円、二十三・八%の減額となっておりますし、老人医療事業会計は前年度とほぼ同額となっております。観光事業会計では、二億五千五百八十六万六千円、五十八・八%の減額になっておりますが、家族旅行村の橋梁整備と圧雪車更新に係る経費、自治法の改正に伴う観光諸施設の委託システムの変更による委

託料の減額が主たる要因になつております。一般会計の歳入予算につきましては次のとおりであります。

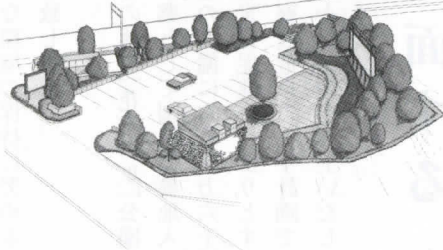
繰入金 20,000千円(0.9%)
地方譲与税 14,400千円(0.6%)
その他 34,149千円(1.6%)



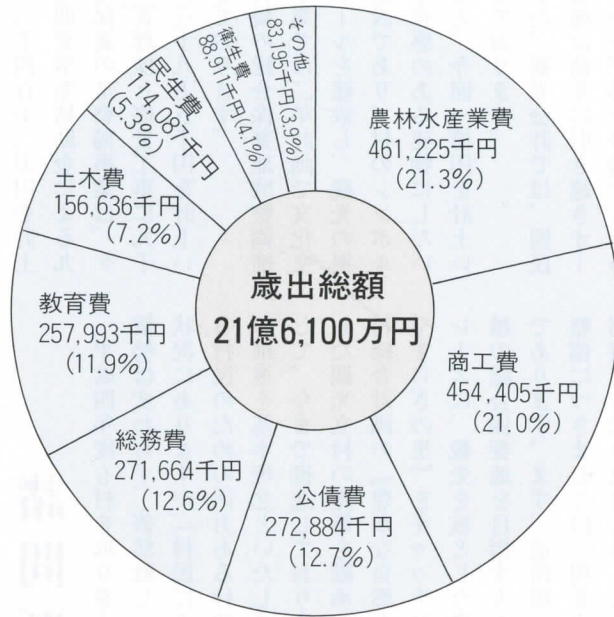
地方交付税	九億七千四百万円
分担金及び負担金	三百四十二万一千円
使用料及び手数料	一千七十七万七千円
国庫支出金	六千六百七万三千円
県支出金	三億三千九百八十二万八千円
財産収入	三千二百三十二万八千円
諸収入	五千三百五十三万一千円
村債	四億九百五十万
その他	二万一千円



▲温泉を核に12億円かけて整備する九頭竜保養の里の完成予想図



▲メイン街道沿の周景整備朝日地区花木里公園完成予想図



を計上いたしまして、不足額の三千万円につきましては、財政調整基金からの繰入二千万円と、前年度会計からの繰

越金一千万円を見込みまして収支の均衡を保つたものであります。

主な事業

本年度の中心的投資事業は九頭竜保養の里整備事業と新村振興農林漁業特別対策事業として地域交流センター建

農林水産業

関係

農林水産業の振興につきましては、従来どおり補助事業を有効に活用し、その産物については観光と連携を持たせ付加価値を高め、所得の向上に結び付けるべく努力を重ねてまいります。

第三期の村おこし事業として魅力あるふるさとづくり事業、新村振興農林漁業特別対策事業を新規の補助事業として組み入れております。この事業により、下山の九頭竜保養の里に、地域食材提供施設と地域交流センターを三年間で建設すべく、六千万円と一億八千万円を計上し、就労機会の拡大、若者の定住とその波及効果に期待するところであります。

又、昨年来岩倉市との交流が進展しつつありますが、岩

設であります。その他の諸施策につきましても積極的に取り組んでまいります。

倉市を含めた都市との交流を深めるための経費も計上いたしております。

農村基盤総合整備事業に一千七百七十七万円、土砂崩壊防止事業二千二百二十一万円、県単土地改良事業七千万円、同じ

生活環境

関係

生活関連施設の整備であります。村道の災害防除、雪寒防雪、改良事業に七千二百万円を計上、河川改修事業には一千万円を計上し、各地区の要望にこたえることとしました。

現行の除雪体制を堅持するため、機械の更新費一千八百九十万円を計上しました。又、国県道の改良につきましては、特に積極的に促進したく、その経費も計上いたしております。

く林道改良事業に三千七百四十万円を計上し、各地区の要望に対応した産業基盤の整備を進めるものであります。

間伐促進強化対策事業、優良森林造成促進事業、県単作業路整備事業に森林組合補助金として、三百六万五千円を計上し森林組合の事業推進に寄与することといたしました。淡水魚放流事業二百五十万円、特定産業振興対策パイロット事業の三百五十万円は例年通りであります。

教育関係

また、宝くじ助成事業で、ゲートボール場のナイター施設を整備し、高齢者の生きがいづくりと健康づくりの一助として二百七十六万円を計上、生活安定資金、住宅貸付基金、合併処理浄化槽設置事業補助などその推進を積極的に図ってまいります。

教育関係につきましては、スクールバス更新費に九百八十万円、給食センター改築費に四千九百五十万円を計上、教

育環境と基盤の整備を図っております。二年目を迎える「青葉の笛」里づくり事業には、六千五百八十七万七千円を計上し、笛の資料館に着手することと致しました。

観光関係

観光関係につきまして、村の観光目玉であるイベントには、二千四百二十万円を計上し、観光開発事業補助金による九頭竜保養の里整備事業は、ケビン管理棟と修景工事に九千二百三十八万五千円を計上いたしております。

新規の総合保養地域整備推進事業では二年計画で文化交流ホールを建設し、観光の拠点施設であり、村のシンボリック存在のある建物にしたいと考え、今回一億円を計上いたしております。

また、観光会計では、国民休養地に前年に引き続きオートキャンプ場を整備するため一千二百六十万円、テニスコートと芝生広場改修費で一千万四千三百三十万円を計上、観光客のニーズに配慮するとともに

良好な環境の保持に努めることと致しました。

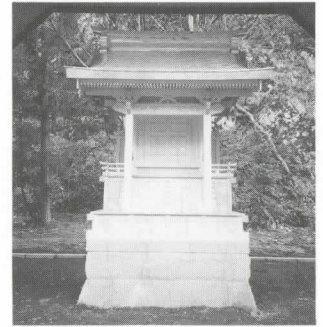
その他、「花木の里」公園整備事業として国民休養地入口付近の整備に六千九万六千円若者定住促進の足掛りとする大納寮改造を二ヶ年計画で二千二十四万円を計上いたしました。

当面する

諸問題と村づくり

平成四年度も村を取り巻く情勢は変わらず、依然厳しい状況にありますが、「村民による村民のための活力ある行政の推進を基本理念」といたしまして、今まで推進してまいりました観光立村の施策を継承し、村総合計画の『豊かな自然とやすらぎの里』をキャッチフレーズに、観光を核とした奥越の総合保養地を目指すものであります。まず、道路網の整備につきましては、現在中部縦貫自動車道は大野―和泉間が基本計画に組入れられておらず、これの基本計画組入と早期着工を訴え、加えて現在工事が進行しております油

▲青葉の笛館 完成間近！



坂峠道路につきましては、平成七年の供用開始を目標に早期完成に向け、さらに本村唯一の生活道路である国道一五八号をはじめ県道三路線の改良整備を促進してまいります。平成七年三月に更新期を迎えます発電水利権につきましては、国策とは申せ、ダム完成以降水無し川と化した九頭竜川と石徹白川の清流復活と内水面漁業の活性化を目指し根強い運動を展開し、観光資源のひとつとして活用が可能な流量確保に向け努力を続けてまいります。

止まるところを知らず、依然減少が続いておりますこの状況は、残念ながら過疎化が進行していると言わざるをえません。しかし過疎につける葉はないといわれるほど過疎化対策は難しいものがあります。が、私は何が何でも村民の心の過疎だけは防ぎたいと考えております。過疎化の進行即高齡化社会であり、国では高齡者対策として高齡者保健福祉推進十ヶ年戦略、いわゆるゴールドプランを平成元年十二月に公表、西暦二千年に至る高齡化社会の対応は言わば新たな国の戦略であり、その骨子である「ねたきりを前提にした施策」から「ねたきりにしないための施策」へ発想を転換する「ねたきり老人ゼロ作戦」の展開、在宅福祉・在宅医療事業の推進、及び高齡者の生きがいづくり、健康づくり対策の推進のための「長寿社会福祉基金」の設置などは、本村としても地域性を見極めながら積極的に取り組まなければならない事業と考えてますので、和泉村のゴールドプランを今年度中に策定し和泉村社会福祉協議会の法

人化と、高齡者福祉の充実を図り、合わせて障害者、児童母子、寡婦福祉施策を積極的に推進し、福祉の村和泉の確立に努めたいと考えております。

教育施設等につきましては皆様方の深い御理解のもと毎年整備を進めているところでございますが、小規模小学校であるがゆえに、財政的負担のみならず教育効果、教育環境等にもマイナス面が大きいものがあると考えられます。

このことは保育所についても同様であり、今後地域住民との話し合いを十二分に重ね、より良い方向を見いだしたいと考えております。

観光施策であります、奥越高原リゾート構想の推進は村民の理解を最優先に考え、民間活力の導入を図ってまいりたいと思えますし、村自らの開発につきましては九頭竜保養の里整備に全力を傾注したいと考えております。既存の観光施設、又、現在整備中の諸施設の有効活用、管理運営体制については、英知を結集し、取り組んでまいります。

平成4年度における主な事業

(単位：千円)

款	事業名	事業費	財源内訳				備考	補助対象基本額	補助率	
			国県支出金	起債	その他	一般財源			国	県
総務費	広報事業	7,513				7,513	全世帯281対象			
	村有林保育事業	3,333	914			2,419	雪起し、枝打	2,285	4/10	
	村営バス運営事業	13,634	3,000		2,100	8,534	2路線	4,500	2/3	
	コミュニティー助成事業 (宝くじ助成金)	2,076			2,000	76	ゲートボール場ナイター設備			
	「花木の里」公園整備事業	60,096	8,700	43,500		7,896	朝日地区公園整備 (植栽、便所)	58,000	15/10	
	「シャンソン村」里づくり事業	1,500				1,500	シャンソン村運営委員会助成			
	大納察住宅改造事業	20,240	10,000			10,240	4室	20,000	1/2	
民生費	生活安定対策事業	11,000			11,000					
	住宅資金貸付事業	4,000				4,000	2戸分			
衛生費	合併処理浄化槽事業	4,060	2,706			1,354	合併浄化槽設置補助 7基	4,060	1/3 1/3	
農林水産業費	農村基盤総合整備事業	17,170	11,135			6,035	上大納地区農業用水改良	17,170	5/10 15/10	
	土砂崩壊防止事業	21,210	12,705			8,505	池ヶ島用水改良	21,210	5/10 1/10	
	県単土地改良事業	7,000	2,100			4,900	3ヶ所(坂無、岡畑、貝皿)	7,000	3/10	
	地域交流センター整備事業	180,000	90,000	90,000			総事業費 600,000千円	150,000	5/10 1/10	
	県単林道改良事業	37,400	18,700	18,700			谷山線外 4路線	37,400	1/2	
	間伐促進強化対策事業	315	273			42	間伐 5ha 事業費 535千円	535	54,000/ha	
	優良森林造成促進事業	300	180			120	枝打 5ha 事業費 600千円	600	3/10	
	県単作業路整備事業	2,450	1,050			1,400	1路線 L=500m 事業費 3,500千円	3,500	3/10	
	淡水魚放流事業	2,500				2,500	アユ、アマゴ、イワナ			
	新むらおこし事業	102,843	22,500	51,500		28,843	ソフト事業 農村と都市交流外 ハード事業 地域食材提供施設 1棟 トラック 1台 フォークリフト 1台 ショベル 1台 自動梱包機 1台	10,000 35,000	1/2 1/2	
	特定産業振興対策パイロット事業	3,500				3,500	特産物の生産奨励			
	商工費	商工振興資金貸付事業	30,000			30,000		限度額 設備資金 20,000千円-運用資金3,000千円		
		九頭竜万本桜推進事業	1,000				1,000			
九頭竜新緑まつり事業		3,965				3,965	5月23～24日 5月30日～31日			
九頭竜サマーフェスティバル事業		2,150				2,150	森と湖に親しむ旬間 7月1日～8月31日			
九頭竜紅葉まつり事業		12,379				12,375	10月31日～11月1日			
九頭竜かまくらまつり事業		5,630				5,630	2月20日～21日			
自然公園施設整備事業負担金		7,400				7,400	下半原ふれあい湖畔施設整備 22,000千円の1/3負担			
九頭竜保養の里整備事業		92,385	30,000	61,500		885	ケビン管理棟及び植栽	60,000	1/2	
総合保養地域整備推進事業		100,000	50,000	50,000			文化交流ホール 総事業費 350,000千円	100,000	1/2	
天狗岩ファミリーパーク整備事業		2,210				2,210	炊事棟 1棟			
土木費		国県道等改良事業負担金	2,000				2,000			
	雪寒機械整備事業	18,900	12,600	6,300			除雪車 1台	18,900	2/3	
	道路災害防除事業	20,000	10,000	10,000			蛇鏡線 L=100m	20,000	1/2	
	河川改修事業	10,000				10,000	倉ヶ谷川 外			
	雪寒防雪事業	30,000	18,000	12,000			蛇鏡線 L=150m	30,000	6/10	
	特殊改良一種事業	15,000	7,500	7,500			岡畑線 L=115m	15,000	1/2	
	道路改良舗装事業	7,000	6,500			500	荷暮線 L=326m	7,000	交付金	
消防費	消防施設整備事業	567				567	小型消防ポンプ 1台			
教育費	スクールバス購入事業	9,800	1,185	8,000		615	47人乗 1台	2,370	1/2	
	給食センター改築事業	49,500	7,046	28,000		14,454	鉄骨平屋建 1棟	21,138	1/3	
	歴史と文化のむらおこし事業	65,877	29,000	22,500		14,377	「青葉の笛」里づくり ソフト事業 体験学習等 ハード事業 笛の資料館 1棟	58,000	1/2	

特別会計

款	事業名	事業費	財源内訳				備考	補助対象基本額	補助率	
			国県支出金	起債	その他	一般財源			国	県
簡易水道会計	水道配管新設事業	26,000	20,152			5,848	朝日、後野地区簡易水道施設	21,000		交付金
観光会計	和泉前坂家族旅行村整備事業	1,000				1,000	側溝改良			
	温泉施設管理事業	34,574			30,495	4,079	50,000人			
	国民休養地整備事業	26,900	2,900	9,700		14,300	オートキャンプ場 23台 テニスコート改良 1.0式 芝生広場改良 1.0式	8,700		1/3
	公園施設管理事業	9,020				9,020	勸和泉村公園施設管理公社			

「都市部との交流で村おこし」

愛知県岩倉市と

交流事業始動へ

都市部との交流を深めて村の活性化を図りたいと、村では中京圏のベッタタウンになりつつある愛知県岩倉市との間で互いに訪問し合う「都市と山村の交流」事業を新年度から計画しています。

岩倉市（石黒靖明市長）は人口四万三千六百七十一人、世帯数は一万四千五百二十六戸、市の特産品として、食用の鶏「名古屋コーチン」が有名で、近年はガラス製品の製造に力を入れています。また、クラシック演奏を中心

音楽のまちづくりも進めています。

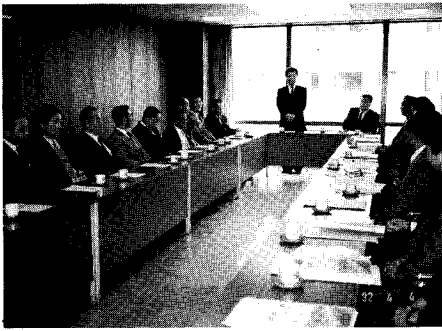
交流のきっかけは、岩倉市の久保田宗一郎助役が和泉村出身という縁で、交流の話を持ちかけたところ岩倉市も山村の自然に触れ合える場所を探しており、双方の考えが一致し、昨年二月から両自治体の代表が相互訪問し、十回近くにわたって協議を重ねて本年度から本格的な交流を始めることになりました。

四月四日(土)には、池尾村長や登議長をはじめ全議員、役

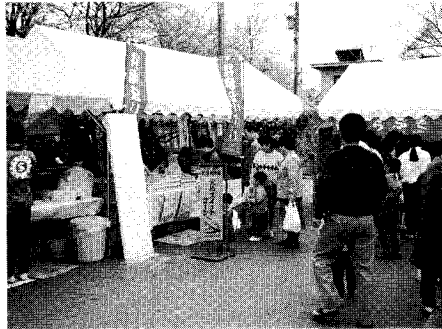
「日本の桜百選」
五条川沿いの桜並木



▶石黒市長より歓迎の言葉
（岩倉市表敬訪問）



場関係者ら合わせて十五人が岩倉市を表敬訪問し、今後の交流計画を話しあってそれぞれ理解を深めたほか、市内の図書館、総合体育文化センターなどの施設を見学しました。また、同日から二日間五条川沿いで開催された岩倉さくらまつり会場では、和泉村特産物生産組合が、村の特産物穴馬スイートコーンや昇竜まいたけ、焼もち、木工芸品などの即売を行い、販売を通じて村のPRをしながら親ほくを深めました。



▶村の特産物の即売会
岩倉さくらまつり会場にて

今後の計画では、夏休みに

合いの輪を広げます。

岩倉市の中学校の剣道チームと子供育成会のリーダー合戦を設けて六十人を招いて、剣道の交流試合や、ビデオによる学校紹介、キャンプなどを楽しんでもらうほか、秋には和泉中学校の全校生三十二人が岩倉市を訪問し、ナゴヤシティ管弦楽団演奏会を聴き、触れ

そのほか、夏と冬には岩倉市の親子百人をサマーキャンプやかまくらまつり、スキー体験に招待する予定です。秋の紅葉まつりでは、岩倉市が特産物を販売するほか、ゲートボールの交歓試合などを計画しています。

「コンパクト村運営委員会からのお知らせ」

「コンパクトステレオ寄贈」

FBCのズームイン朝でおなじみの森本茂樹アナウンサーが、TBS系列ラジオ列島リポートの全国放送で、和泉村サンソンでじゃんそんをリポートしたものが、全国三本の中からみごとグランプリを受賞され、その賞金でこのほどサンソン村にコンパクトステレオを寄贈してくださいました。FBCのご厚意に感謝を申し上げます。村民の皆様方にお知らせします。

原ルリ子さん他の方々です。詳しくは、サンソン村運営委員会（和泉村商工会内）☎七八一二一〇四までおたずねください。

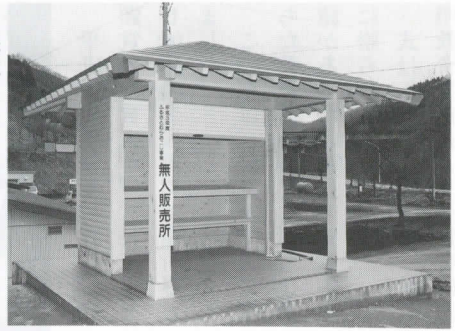


▶森本アナウンサーより
手渡された
「コンパクトステレオ」

なお、サンソン村では、五月二十四日(日)午後二時より、村農林業者トレーニングセンターにおいて、サンソン村五周年記念のコンサートを予定しております。出演は石井

農産物無人販売施設完成

村内二箇所に設置

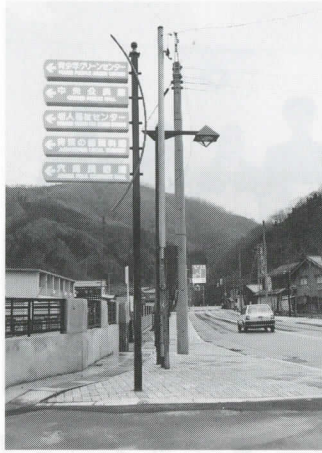


▶完成した
川合地区の無人販売施設

平成三年度ふるさとむらおこし事業により整備を進めてきました、無人販売所がこのほど完成しました。

自然志向、健康志向の高まりの中で、本村を訪れる観光客や通り客に採れたての山菜や農産物など村の特産物を直販するため、川合・下山両地区の国道沿いに設置されたもので、農業と観光の連携によって、地域の活性化を図るものです。

村内六箇所に 観光案内誘導標識を整備



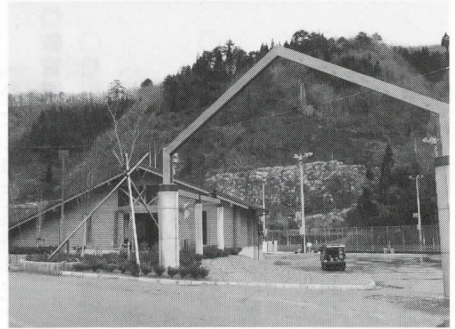
▲設置された案内標識

村の施設を案内する誘導標識が、平成三年度美しくたくましい地域づくり事業により、村内六箇所に設置されました。

村では「観光立村」を掲げ、観光レクリエーション施設を整備して住み良い豊かな村づくりを目指しており、村内を訪れる観光客に一目で施設が分かる案内標識を設置したもので、これにより地域のイメージアップが図られ活性化に期待されるものです。

進む

「花木の里」づくり事業



▶村民グラウンド周辺整備
「花木の里公園」

村では、ふるさと創生事業で提言を受けた「花木の里」づくり事業を平成二年度から四ヶ年計画で取り組み、花木の里公園整備を進めています。平成三年度は、村民グラウンド周辺（川合）の整備が昨年より工事が進められ、運動広場、便所、修景整備が実施されました。

この事業は、ウッドイランド和泉をキャッチフレーズにリゾート整備を進めている村

のメイン街道沿いの周景整備により、なお一層のイメージアップと地域の活性化を図り観光客等の大巾な増加を期待することを目的としています。今年度は、朝日地区に花木の里公園を整備し、沿道スペースが観光客、村民の憩いの場として広く活用できるよう計画されています。また、平成五年度には、大谷地区、下山地区の整備を図り、魅力あるむらづくりに向けての施設づくりが予定されています。

アマゴ 奥越漁協のふ化場完成 五十万匹の放流が可能に！



▶完成したふ化水槽（建物）

奥越漁業協同組合のふ化場「種苗生産供給施設」がこのほど、組合前（川合）に完成しました。組合ではこれまで以上のアマゴ、イワナを生産、村内の河川に放流して観光漁業の振興を図りたいとしています。

この施設は内水面漁業振興対策事業として国や県の補助を得て昨年夏から工事を進めてきたもので、約一畝四方のふ化水槽二十四基を設けた木

造平屋建て一棟と、上流の谷から水を引いた貯水槽（三×四×五畝）を設けたり、地下三十畝の井戸を掘って水量不足に対応できるようにしています。

施設で種苗生産を開始するのは今年十月からで、アマゴ二十万匹、イワナ三十万匹をふ化させ、体長七センチ程度まで育てて河川に放流する計画です。

平成三年度 教育研究顕賞 受賞者決まる



研究に対して、一人ひとりへのご講評をされ「本年度は、受賞者も多く地域と学校教育の密着した研究も多く有りました。」と受賞者を讃えました。

三年間パソコンを中心として研究された和泉中学校（校長杉本敏憲）をはじめ、化石学習をおしてふる里和泉村の良さをレプリカづくりで体験した研究をまとめた角南達三教

平成三年度和泉村教育研究顕賞の受賞式が、二月二十七日(木)中央公民館にて挙行されました。
この章は、創意と工夫に満ちた教育活動推進に顕著な業績があった教職員や児童生徒に贈られました。
式は午後から始まり、林昭明教育委員長より受賞者に表彰状が手渡され、続いて和泉村学校教育研究会長洞口幸夫校長より、受賞団体、個人の

論（朝日小学校）の研究、教師と家庭との連携手段に学級通信を出し、児童の指導に役立てた研究発表、児童の健康状況を長年調査研究し、実際に指導されている研究発表など、また、児童からの研究発表もあり、夏休みから取り組んだ発表もありました。
最後に、三橋里子教諭が実際に自分の仕事に役立つと考え、取り組んだ事が研究の動機になりましたと、受賞者を

代表してお礼の挨拶をされました。
賞を受けた方々は、次のとおりです。（敬称略）

◎表彰状

- 和泉中学校（平成元年度二年度・三年度和泉村指定研究委嘱）
「自己学習力を育てる指導法（パソコンを中心として）」

◎研究奨励賞

- 角南 達三(朝日小学校教諭)
「化石学習を通して自然に対する理解を深める」
- 三橋 里子(朝日小学校教諭)
「わたしの生活科日記」

◎教育奨励賞

- 松田 桂子(大納小学校講師)
「学級通信を通じた学級づくりについて」
- 阪井 和代(朝日小養護教諭)
「養護教諭として、性教育のとりくみ」

◎賞詞

- 東 拓也(朝日小学校三年)
「むかしと今の下山のよ

- うす」
- 田村沙央里(大納小学校四年)
「あきあかねの観察」

- 和泉中学校 クロスカン トリー・女子リレー チーム
(山出雪子、長嶋美千代 吉岡由記、田中みずほ)

◎優秀選手賞

- 和泉中学校 男子剣道部
「奥越地区中学校春季総合大会三年連続・優勝」
- 和泉中学校 女子剣道部
「奥越地区中学校春季総合大会三年連続・優勝」

- 平成三年度福井県中学校総合競技大会スキー競技会クロスカントリー・リレーの部、優勝」

事業主の皆さんへお知らせ

◎労働保険料の 申告・納付は お早めに!

今年も労働保険料（雇用保険・労災保険）の申告・納付の季節となりました。

平成三年度の確定保険料と平成四年度の概算保険料は五月十五日(金)までに最寄りの金融機関に申告・納付を終えてください。

また、県内各地に受付会場を設け、労働保険料の申告書の記入や納付方法についての相談も行っています。

期限までに申告・納付がない場合は、保険料の認定決定及び追徴金の徴収等を受けることがありますので、五月十五日までの申告・納付を厳守してください。

大野公共職業安定所管内の集合受付会場は次のとおりです。
☆4月20日(月) 9時30分から
☆4月24日(金) 4時まで
多田記念大野有終会館

平成四年四月一日より労働保険の保険料率が変わります
雇用保険率が千分の二引き下げられ、また、労災保険率も一部業種について改定となります。

緑の羽根募金運動

緑をこれからの世代に残していくために
森林づくりに参加しよう



長かった冬も終わり、若葉が芽吹く季節になりました。茶色一色であった景色が、少しずつ緑色に変わっていきま

す。生命の息吹を改めて感じさせてくれる季節です。この「桜前線」ならぬ「緑前線」の北上に合わせて、現在、街頭をはじめ、さまざまな所で緑の羽根募金が行われています。もう募金はされま

したか？
緑の羽根募金に寄せられた皆さんの募金（浄財といいますが）は、集められたそれぞれの地域の緑化活動に使われています。
緑の羽根募金は、昭和二十五年に始められました。当時

山々は、戦争や戦後の復興のために木が切られ、ほとんど丸裸の状態でした。この丸裸の山に木を植えようと始められたのが、この緑の羽根募金の運動です。

それから四十年以上たちました。裸であった山々には木々が立派に育ち、緑が潤っています。台風などによる被害も以前に比べると少なくなりました。山の木々が土砂崩れや洪水を防いでくれるからです。森林は、わたしたちの暮らしを支える木材資源を提供してくれるだけでなく、わたしたちの暮らしを守ってくれています。

森林を守り育て、これからの世代に残していくのは、わたしたちの努めです。二十一世紀の森林づくりのために、わたしたち一人一人が森林を自分のものとして考え、それぞれの立場で、可能な方法で森林づくりに参加していくことが求められています。

あなたの気持ちを、この緑の羽根募金に託してください。そして、この機会に、わたしたちと緑との関係について家族で話し合ってみてください。みんなの力で豊かな森林を育てましょう！

平成三年中の火災・救急状況

「スキーによる負傷者増加」

平成三年中幸いにも村内において火災の発生はありませんでした。救急については、出場件数搬送人員とも近年減少の傾向にありましたが、残念ながら昨年は増加してしまいました。救急内容としては、交通事故、一般負傷、急病がそのほとんどで、交通事故は減少しているものの、その他は増加しています。一般負傷は冬場のスキー場での負傷が主なものです。

また、救急車で運んだ人で軽症が二十三人（三十九・七％）もいました。村民の方は十七人運び急病が十人と半数以上でした。

表2 月別出場件数

種別月別	交通	一般負傷	急病	その他	合計
1		4		1	5
2		4	1		5
3		5		1	6
4					
5	2	1	2	1	6
6	2			1	3
7	1		3		4
8	6	1	4	1	12
9	2	1	1	1	5
10	2		2	1	5
11			2		2
12			1	1	2
合計	15	16	16	8	55

表1 救急活動状況

	平成元年	平成2年	平成3年	前年比増減	
交通	出場件数	24	19	15	△4
	搬送人員	23	23	18	△5
労働災害	出場件数		3	3	
	搬送人員		3	3	
運動競技	出場件数			2	2
	搬送人員			2	2
一般負傷	出場件数	16	10	16	6
	搬送人員	15	8	18	10
加害	出場件数		1		△1
	搬送人員		1		△1
自損行為	出場件数			2	2
	搬送人員			1	1
急病	出場件数	11	9	16	7
	搬送人員	11	9	15	6
その他	出場件数	1	2	1	△1
	搬送人員	1	2	1	△1
合計	出場件数	52	45	55	10
	搬送人員	50	46	58	12

表4 搬送人員出身別

和泉	17人 (29.3%)	急病 10人	運動競技 1人
大野	5人 (8.6%)	交通 2人	労働災害 1人
県内	22人 (38.0%)	一般負傷 2人	転院 1人
県外	14人 (24.1%)		

表3 傷病程度別

死亡	1人 (1.7%)
重傷	5人 (13.8%)
中等症	26人 (44.8%)
軽症	14人 (39.7%)

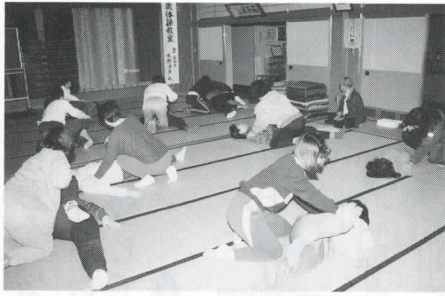
冬季成人学級 「かご作り」に挑戦!!

今年も冬季成人学級が各分館ごとにスタートし、活発に活動しました。

朝日分館の手作り教室では村内全域から高齢者の方が参加し、新屋さんの指導のもと「かご作り」に挑戦しました。一月一回では物足りないという事で時間を見つけては熱心に取り組んでいました。その他の活動においても、地域の人が集まること自体に意義を見出し、人々の和とともに、学習意欲を高めています。



▶熱心に「かご作り」にはげむ参加者



▲ストレッチ体操で健康づくり

健康体操で明るい生活

二月二十五日、福祉センター和室において、健康体操教室が行なわれました。水野浄子氏を講師として二十名の参加者が約一時間半、ストレッチ体操を中心に学習しました。病気の予防にも有効であることを理論的に理解しながら、家庭で手軽にできる体操を、笑い声を弾ませながら楽しんでおられました。この体操は、一日十五分あ

れば簡単にできるものです。毎日続けて、より健康になっ

囲碁大会は

宮原さん・天木さんが「優勝」

一月十五日、平成四年新春囲碁大会が開催されました。午前九時より午後四時まで、十名の参加により、大熱戦が展開されました。

リーグ戦の結果は、次のと

- 優勝 宮原 公夫
- 天木 英治 (同率)
- 三位 稲郷 栄一
- 池尾 長久
- 岡本 正 (同率)

緑を守るのはあなた! 「山火事をなくそう」

山の緑は大切な資源です。これからは、空気が乾燥し小さな火でも大きな山火事になることがありますから、焚火やタバコの火などには十分な注意が必要です。

◆山菜とり◆

これから山菜とりの季節になりますが、山菜とりのタバコの火や、マッチの投げ捨てによる山火事が発生しております。小さな火でも完全に消しましょう。あなたの心がけ次第で火事は防げます。

◆山仕事◆

植林や伐採作業などで焚火をするときは、他に燃えうつらないよう区切りを完全にし

ていたきたいと思えます。

おりです。

三位 稲郷 栄一

電線にご注意!!

安全で楽しい「鯉のぼり」を
—北陸電力—



可愛いお子さまや、お孫さまの楽しい「鯉のぼり」の時期になりました。

アマチュア無線技士試験案内

受験資格	試験地	受験申請書 受付期間	試験日
第3級 (改正前・ 電信級)	金沢市	6月1日～	8月25日
		6月20日	26日
第4級 (改正前・ 電話級)	金沢市	9月1日～	11月22日
		9月21日	29日

☆受験手数料……2,762円
☆受験申請提出先
〒920 金沢市尾山町1-10
東邦生命金沢ビル
日本無線協会北陸支部

☆詳細

- ☎(0762-22-2929)テレホンサービス
- ☎(0762-22-7121)センター事務所

- ◎ 最近の「鯉のぼり」のポール(竿)は、金属製(アルミ)で、しかも長くなってきており、しかも長くなくてきつておられる方が多いです。次の点に注意するようにお願いします。
- ◎ 「鯉のぼり」は、電線から十分離れたところに立てて下さい。
- ◎ 金属製のポールは、特に「感電」しやすいので、気をつけて下さい。
- ◎ 風のためにポールが、たおれたり、かたむいたりして、電線にふれないようしっかりと固定して下さい。

第五回

九頭竜かまくらまつり

～ 沢山の観光客訪れにぎわう ～

第五回九頭竜かまくらまつりが二月十四日、十五日の両日九頭竜スキー場で開催されました。会場には、かまくらやジャンボすべり台が設置され、特産品などが販売されたかまくら街などが催され、県内外からスキーヤーをはじめ家族連れら大勢の人たちが訪れ賑わいました。

初日は、たいまつ滑降や雪上デイスコ、どんと焼、雪中花火が行なわれ、あたたかい甘酒のサービスで賑わいました。二日目は、雪合戦大会や親子雪上運動会が実施され、冷たい雪の中、それぞれ熱戦が繰り広げられました。また、かまくらまつりに華を添えるため、九頭竜国民休養地入口に造られたシンボルかまくらをはじめ、九頭竜湖駅前通りには雪像が設けられ十基の雪像コンクールの発表も行なわれました。

一位に電源開発の「小錦」、二位に大野地区消防組合和泉分遣所の「きんぎょ注意報・ぎよびちゃん」、三位に旅館組合・駅前商店街の「宝船」、

設置されたかまくら街



▶ ルールのある雪合戦大会
チビッコ大はしゃぎ!



特別賞には大納小学校「ゴマちゃん」、朝日小学校A「きんぎょどら」が、それぞれ選ばれました。



▶ 一位になった
「小錦」の雪像



▶ 村の特産物を販売
「冬の味ランド」

▶ 二位になった
「きんぎょ注意報・ぎよびちゃん」の雪像



第六回 九頭竜新緑まつり

日程決まる

第六回九頭竜新緑まつりが今年も五月二十三日、二十四日、三十日、三十一日の両土日曜日に、九頭竜湖駅前ふれあい広場を中心に開催されます。新緑が最も美しい時期に開かれるこのまつりも、回を重ねるごとに人気を集め、山菜や特産品を販売する新緑市場をはじめ、九頭竜山菜大学など各イベントが予定されています。詳しい内容は次のとおりです。

- 新緑市場
期日 ● 5月23日(土)・24日(日)
30日(土)・31日(日)
時間 ● 午前10時から午後4時まで
場所 ● 九頭竜湖駅前ふれあい広場
- 九頭竜山菜大学
期日 ● 5月23日(土)・24日(日)
時間 ● 23日午前11時から24日午後3時まで
場所 ● 和泉村社会教育福祉センター他

※申し込みが必要です。



▶ 三位になった
「宝船」の雪像

平成四年度の 区長・班長を紹介します

村と村民との連絡調整にあたる各地区の区長・班長さんが次のとおり決まりました。村の行政のことや、その他いろいろなことについてご相談ください。

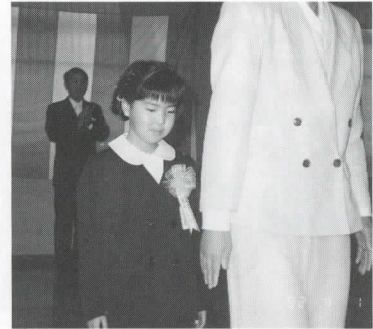
- (敬称略)
- ◎朝日前坂(区長) 加藤 守彦
 - ◎角野前坂(区長) 平瀬 利雄
 - ◎後野(区長) 三嶋 勇
 - ◎貝皿(区長) 中村 主男
 - ◎川合(区長) 櫻川 義男
 - ◎朝日(区長) 中内 智利
 - 一班 (班長) 表 俊一
 - 二班 (班長) 加藤 幸子
 - 三班 (班長) 三橋うめの
 - 四班 (班長) 新井 真澄
 - ◎板倉(区長) 森尾 義治
 - ◎角野(区長) 山田 健二
 - ◎下野(区長) 宇野 一雄
 - 坂無(班長) 山 雄三
 - 池島(班長) 林 敏雄
 - 岡畑(班長) 谷 幸男
 - ◎下大納(区長) 山内登子雄
 - ◎上大納(区長) 原 維雄
 - 一班 (班長) 長崎 吉久
 - 二班 (班長) 小山 敏次
 - 三班 (班長) 吉本征一郎
 - ◎中竜(区長) 氏家 英明

五名のみなさん 入学おめでとうございます。

朝日・大納両小学校では、四月一日(休)、午前九時より新入生を迎え入学式が行われました。

- ★朝日小学校(四名) (敬称略)
- | 名 | 前 | 保護者 | 続柄 | 住所 |
|----|----|-----|----|----|
| 加藤 | 俊介 | 公典 | 長男 | 朝日 |
| 中村 | 茜 | 洋一 | 二女 | 貝皿 |
| 林 | 美治 | 治成 | 長女 | 朝日 |
| 巢守 | 美希 | 治和 | 長女 | 朝日 |

★大納小学校(二名)
名 前 保護者 続柄 住所
長崎 ちあき 伸夫 二女 上大納



▶大納小学校へ
入学したちあきちちゃん

▶朝日小学校へ
入学した
四名のみなさん



大納小学校教頭に 早川きよみさん

四月一日付 教職員異動

四月一日付で本村の学校教職員異動があり、次のとおり着任されました。

- 転入 (敬称略)
- ◎朝日小学校
- 教諭 明石 則夫(有終南小)
 - 教諭 武田 宜弘(松陵中)
 - 教諭 長谷川留美(順化小)
 - 養護教諭 山本 孝子(新採用)
 - 事務職員 久保田智恵(新採用)
- ◎大納小学校
- 教頭 早川きよみ(開成中)
- 転出
- 養護教諭 宮塚 千代(新採用)
 - ◎和泉中学校
 - 教諭 櫻井 透(陽明中)
 - 教諭 勝矢 和宏(美山中)
 - 教諭 河合 美和(清明小)
- 退職
- 浦井 真人(大小) 下庄小へ
 - 松村 秀彦(朝小) 蔵生小へ
 - 松田 秀憲(和中) 富田小へ
 - 氣谷 達郎(和中) 社中へ
 - 角南 達三(朝小) 至民中へ
 - 大野喜美恵(和中) 志比小へ
 - 阪井 和代(朝小) 森目小へ
 - 今井 美幸(大小) 六呂師小へ

**平成三年度分の
JR越美北線
助成金請求は
四月三十日まで**

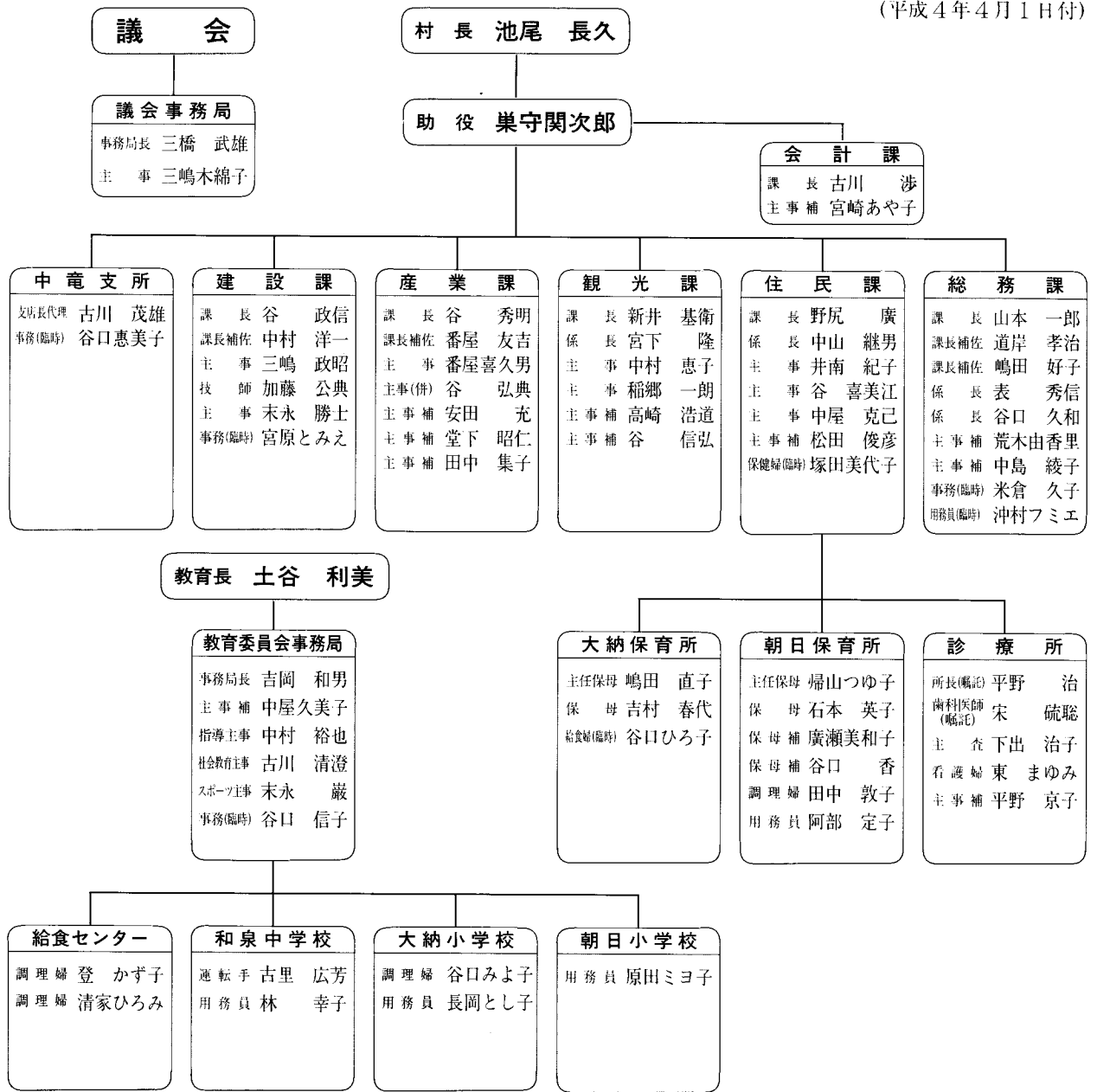
平成三年度中(平成四年三月三十一日まで)にJR越美北線を利用された村民の方でまだ助成金の申請をしていない方がいましたら事務処理のため四月三十日までに必ず請求をすませてください。



▶四月より着任された先生

平成4年4月 人事異動に伴う組織図

(平成4年4月1日付)



役場職員の一部異動

一部異動

四月一日付で、役場職員の一部異動がありました。

※総務課

係長 表 秀信(産業課)
係長 谷口 久和(総務課)

※観光課

主事補 荒木由香里(産業課)
主事補 中島 綾子(観光課)

※産業課

主事 中村 恵子(教育委員会)
主事 稲郷 一朗(総務課)
主事補 高崎 浩道(産業課)

※教育委員会

主事 番屋喜久男(総務課)
主事補 安田 充(観光課)
主事補 田中 集子(観光課)
主事補 中屋久美子(総務課)

健康保険と厚生年金

社長さん！

加入手続きはお済みですか

法人事業所はすべて社会保険に加入

昭和六十三年四月から法人の会社や工場で働く人（常勤役員を含む）は、すべて健康保険や厚生年金保険に加入することが義務づけられています。まだ加入されていない事業者は、すみやかに加入の手続きをおとり下さい。

「あなた自身の年金を守る」には、毎月の保険料をきちんと納めることが大切です。

国民年金の窓
あなたの国民年金保険料
納め忘れないために……

「あなた自身の年金を守る」には、毎月の保険料をきちんと納めることが大切です。

国民年金の保険料は、市町村役場から送付される納付案内書により、役場や金融機関で納めることになっています。しかし、役場や金融機関が近くにないとか、または、納めに行くのが面倒だと言う人も少なくありません。

そこで、納め忘れをなくすために、口座振替を利用した納め方がありますので、未だの方は是非このいずれかの方法をとっていただきたいと思



◆口座振替

電気やガス、水道料金などと同じように、利用されている金融機関で一度手続きされますと、口座から自動的に引

福井社会保険事務所
社会保険適用課
☎0776-2311002

き落とされますので、納期日を気にする必要もなくなりまた、納めに行く手間も省けますので、便利で安心です。

手続きは、ご希望の金融機関に預金通帳、印鑑、年金手帳を持って、金融機関・市町村役場に備え付けの「口座振替依頼書」に必要な事項を記入し、申し込んで下さい。

労働基準局からの
お知らせ

「技能特例講習」は
九月までです！

法令改正により、床上操作式クレーン、小型移動式クレーン等の運転には、資格（技能講習修了）が必要となりました。

特別教育を受け、これらの作業に就いているなど、一定の条件を備えている人は、特

人のうごき

(敬称略)

例講習により資格を得ることができます。詳しいことは、福井労働基

準局、または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

▼あかちゃん

(二月届出分)

名 前 保護者 続柄 住所
岡田 紫野春菜 哲 長女 上大納

(三月届出分)

名 前 保護者 続柄 住所
宋 優希 毓聰 長女 朝日



むらさきはるな
紫野春菜ちゃん



ゆき
優希ちゃん

▼おくやみ

(二月届出分)

名 前 住所 年齢
末永 マツノ 川 合 84才
林 治三郎 板 倉 100才

(二月届出分)

名 前 住所 年齢
野呂 一郎 下山 66才
中屋 稔 朝 日 62才

君かわ 西村 宗